

磐城時報

印刷所 磐城印刷所
印刷部 磐城印刷所
電話 磐城印刷所
社址 磐城印刷所
発行所 磐城印刷所
印刷部 磐城印刷所
電話 磐城印刷所
社址 磐城印刷所
発行所 磐城印刷所

郡下の災害復舊豫算 総額十萬圓か

縣當局と談話談判して 小林監督所長の氣焰

今次の暴風雨災害に就て縣當局此の外緊急工事四千圓着工の猛と災害復舊工事打合せのため出運動を續けてゐるので平土木監縣中であつた小林平土木監督所長が管内の災害復舊豫算は總額長は昨三十日午後歸平したが、十萬圓に達する見込みである。の土産話——

明年度海軍 平町兵事課 志願兵募集

は目下明年一度海軍志願兵を募集してゐるが希望者は來月三十日まで役場經由で福島縣隊區司令部宛願書提出されたい。

同所から縣當局に要求した復舊豫算は道路、橋梁、港灣各八ヶ所、河川十ヶ所、合計卅六ヶ所、九萬四千八百八十圓。他に町村工事橋梁三、港灣一ヶ所合計一萬三千二百廿圓。總計十萬七千四百圓で郡下の被害實狀を説いて既定方針通り採擇せられたる旨を折衝したが結局九萬九千七百圓に削減せられ來る通常縣會に提出の上通過次第直ちに着工の筈であるが、

寄附金は送つたが 計劃進まぬ磐女講堂

速かに着工を希望する 青沼平町長語る

生徒の收容數縣下隨一である磐を希望し縣からの催促を俟たず城高等女學校に講堂がないのを去る九月二日一萬三千圓を縣に遺贈として好問村小田吉治氏が送つたが、その後縣の建設準備建設資金一萬三千圓の寄附を申容易に進まないで小田氏は心出でた事既報の如くであるが、速かに氣を揉み正木磐女校長を小田氏は一日も早く實現する事通じ縣に着工方の催促をなした

右について青沼平町長は次のやうに語つた。

「磐女校講堂はその必要を痛感されてゐながら豫算の關係で實現されなかつたのを聞いて小田氏が全工費を寄附したもので、而も縣の催促を俟たずに一萬三千圓を揃えて納入したのに計劃が進まないで小田氏は縣に催促をしたのである。小田氏の言ふ通り冬期になると壁を塗る都合もあるし速かに着工しないか來春までは完成が覺束なくなるから一日も早く着工を希望する」

断然多い自轉車 残された衰衰しき人力車

交通量調査始る

けふの國勢調査と期を同ふする平土木監督所管内の交通量調査は郡下十六ヶ所、同所員及び各町村青年團を動員して今日から三日間に亘つて毎日午前六時から午後六時まで凡ゆる交通機關を含む通行數を調査してゐるが、この調査の結果産業物資集積の激増と交通網の發達による躍進石城郡の姿が興味多岐的確な數字となつて現はれるわけである。因に平町の調査個所である一丁目坂本紙店前に於ける今日(但し午前六時一午後一時までの交通量は左の如き數字を示してゐる。

小名濱港の犠牲者 残る二死体も收容

沈没三浚漈船の引揚げ開始 築港防波堤は何等損傷なし

既報—小名濱港で水産の犠牲と後四時半に至つて海底に沈没した四隻の中残る二名捜査のた開北丸の機關部に水夫小池健三(四二)の死体を發見、一日午前船三隻を出して港内外一帯を捜七時半には敦賀丸水夫大前豊(なほ平驛豫備助役白土庄次郎氏)の死体を收容した。遭難も同日付で助川驛豫備助役に轉水させて海底捜査の結果同日午した開北丸、敦賀丸、坂東丸三任した。

續騰！また新高値

遂に六十七圓九十錢に達す 連日躍進の四倉市場

高騰に次ぐ高騰に連日歡喜沸く四倉市場三十日の取引は出廻り八百五貫、高値六十七圓九十錢、安値五十五圓、買は氣遣はれた防波堤は波浪も納つた卅日午後何等の損傷も出でなかつたことを確認し築港事務所では不幸中の幸ひであること喜んでゐる。

三棟を焼く 今曉草野の火事

一日午前三時ころ草野村大字下神谷字中宿農齋藤巳之治方母屋から突如發火、火は忽ち燃え擴がり同建物と隣居二棟を全焼、非住家一棟を半焼して同四時鎮火した、損害二千圓、原因は藪乾燥の火の不始末。

傳貧馬發生 殺處分に付す

上小川村大字上小川字内倉草野長松方所有牝馬(一六才)は二十七日検診の結果眞症傳貧馬と決定卅日殺處分に付した。

平機關庫助役異動

水戸運輸事務所管内機關庫幹部の異動は卅日付で發表されたがうち平關係分左の通り

平機關庫助役	塚本 保
同	王木兼治郎
轉任水戸機關庫助役(各通)	
助役	和貝勘次郎
轉任水戸運輸事務所勤務	
検査掛	小林 武男
常陸大子機關庫助役へ	
水戸運輸事務所勤務	
尾崎彦太郎	
水戸機關庫	遠藤 重治
常陸大子機關庫	石井 久治
轉任平機關庫助役(各通)	
常陸大子機關庫助役(各通)	
轉任平驛豫備助役白土庄次郎氏	
同日付で助川驛豫備助役に轉	

カクテル
イキタロデンス
レストラン サロン

RESTAURANT.
TEA AND WINE
洋食 有難い存しませ
コンパル
平町電六六六番

△平驛便り一束 平驛事故防止委員會十月例會は五日午前十一時から双葉郡廣野の泉で開く。

× 水戸運輸事務所では三日午前十時から集會所で出改札業務打合せ會を開くが平驛から猪狩監督小野出札係が出席する。

× 東鐵管内現業委員大會は二、三日日熊谷市公會堂で開かれるが平驛から中根、加藤兩委員出席する。

福祿ストロフ福引大賣出し

景品總額五萬圓

期間 昭和十年九月廿五日ヨリ十二月二十日マデ

賣出規定

福引券 ストロフ御買上の方に左の割合にて進呈致します

フクロクストロフ 一號大衆(中型)寶(大小) 各一本ニ付 一枚

フクロクストロフ 二號大衆(大型) 各一本ニ付 二枚

フクロクストロフ 三號 各一本ニ付 三枚

フクロクストロフ 四號 各一本ニ付 四枚

抽籤發表 昭和十一年朝日新聞に發表す

景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄福引券引換に代理部にて景品引換ます

景品 (福引券一千枚を一組とす)

- 一等 百圓 一本
- 二等 參拾圓 三本
- 三等 拾圓 三本
- 四等 五圓 四本
- 外等 特製福祿便箋 空籤なし

福祿ストロフ

釜屋商店

販賣代理店

阿部石炭商店

産科
婦人科
花柳病科

井坂醫院

平町田町(電話五五九番)

外科・花柳病専門

入院隨意

平町六丁目

木村外科醫院

電話三〇九番

秋の帽子

明快に描き出されたる新秋のモード……豪華版!
ぜひ中野の逸品を御批評下さいませ!

秋のネクタイ逸品展

中野洋品店 電話五三

川口洋行

川口洋行

川口洋行

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
ハカリ
マ ス

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス

寫真機

材料一式

關内藥局

電話四〇番

かまぼく製造 折詰仕出し

平町一丁目(電話一四一番)

た惣菜用
さつま揚
吉原揚

かまぼく製造

折詰仕出し

吉原揚、さつま揚

平二

冬藤市

電話三〇五番

父正直儀豫れて病氣療養中の處
去る二十一日東京市本所區別邸に
於て享年八十七歳にて永眠仕候間
此段生前辱知諸彦に謹告仕候
追つて葬送の儀は十月四日午後一時自宅出棺明賢
寺に於て葬儀執行可仕候
昭和十年九月三十日
平町番匠町五
男 堀江正茂
親戚一同

宮平 乗合自動車

直通開始

七月二十日より

發車所……平町三丁目

尼子自動車部

電話六四〇番

開院

五十嵐 婦人科醫院

平町新川町一二

醫學博士 五十嵐雄二

電話三七〇番

耳鼻咽喉科

高柳 耳鼻咽喉科醫院

平町驛前(電三三六)

醫學博士 高柳博明

(入院應需
自炊ノ便アリ)